

# Oriel® スペクトル照射データに関する情報

## Information on Oriel® Spectral Irradiance Data

このセクションの最後に示す放射分析データは、Newportのスタンダードラボラトリで測定したものです。波長キャリブレーションは、Newportのスペクトルキャリブレーションランプをベースにしています。250nm ~ 2,500nmまでの照射データは、NIST追跡可能キャリブレーション済みクォーツタンクステンハロゲンランプをベースにしています。測定結果は、キャリブレーション済みディテクタを使用して検証しました。300nm未満の波長については、キャリブレーション済みの重水素ランプを使用しました。どちらの場合にも、補間式を用いて個々のNISTキャリブレーション波長以外でのキャリブレーションランプの照射量を予想しました。キャリブレーションするランプを最も適した方位に置いて、ひとつずつ測定しました。

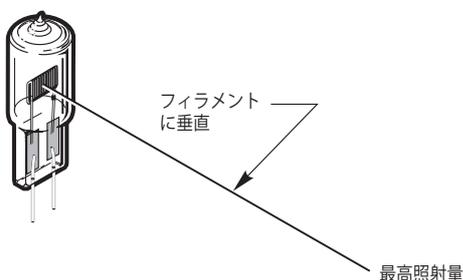
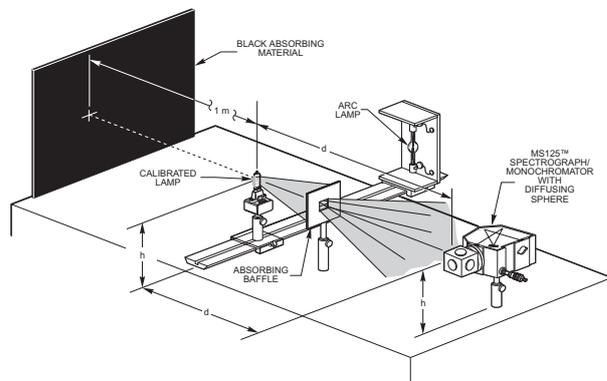


図1: 重フラットフィラメントを備えたQTHランプは、フィラメントの中央を通るフィラメント面に垂直な軸に沿って最も高い照射量が見られました。シールオフチップと、場合によってはスタータワイヤが測定を妨げないようにアークランプを配置しました。



ランプは垂直に立てて動作させ、照射するフィラメントまたはアークの中央を通る水平面で測定しました。測定現場で最高の磁束が得られるようにランプを回転しました。当社の平面フィラメントのクォーツタンクステンハロゲンランプでは、この処置が特に重要な意味があります。測定距離0.5 mでは、Newportのすべてのランプの流速密度は、少なくとも25 x 25 mm<sup>2</sup>の範囲で一定でした。光源に面したままで0.5mの距離を保ちながら測定面から移動すると、ランペルトの法則に従い平面光源の場合は原理的に出力が低下しますが、点光源の場合は変化しません。測定結果によると、点光源に似たアークランプと電極のシャドウイング限界との間では、何かあることがわかります。

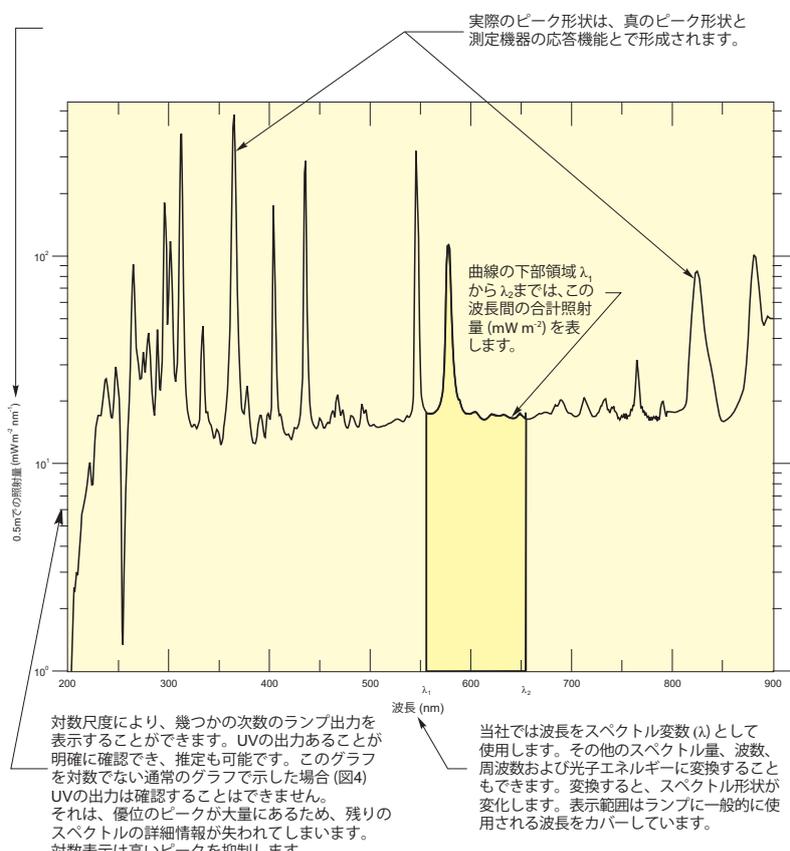


図3: アークランプ、クォーツタンクステンハロゲンランプ、重水素ランプのスペクトル照射曲線の例。

測定距離を0.5 mから変えると、距離dが照射元素のサイズの20倍から30倍大きい場合に限り、照射量は逆二乗の法則に従って変化します。最短の測定距離は、300 mmです。

### セミログ表示

セミログ表示の長所は、非常に低いレベルから大きなピークまで、広いグラフ表示範囲に対応する点です。図4は図3のグラフを線形表示したものです。ピークの高さについてはこちらの方がわかりやすいですが、低いレベルの値が失われています。

対数圧縮は、特定の曲線の下にある領域を推定し、たとえば1から12までの総照射量を決定するような場合には当てになりません。底部の領域を適切に割り引いて考慮することを念頭におかない限り、目視ですぐに比較できるものではありません。ピークには非常に重要な意味があります。そのため、曲線から読み取ったデータ値を用いて、領域を計算する必要があります。

対数尺度では、ピーク照射量の推定には複雑な計算が必要です。半値幅は、グラフに表示されるピークの頂点と底の半分ではありません。半値幅は、対数軸尺度上の1から2、または10から20などの距離を測定すると、簡単に計算できます。この距離をピークから下ろしたところが半値幅となります(図5)。

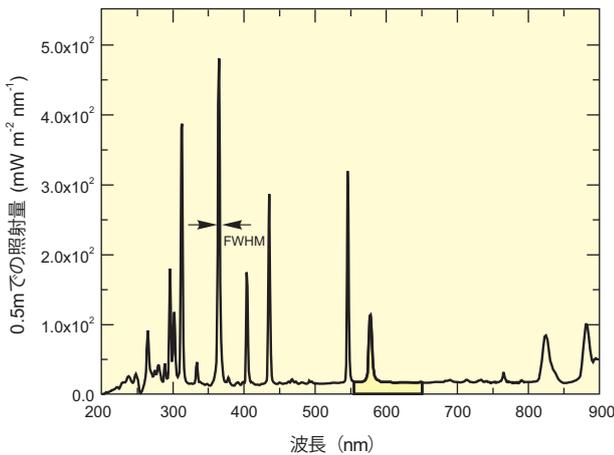


図4：図3で示したグラフを線形表示したものです。

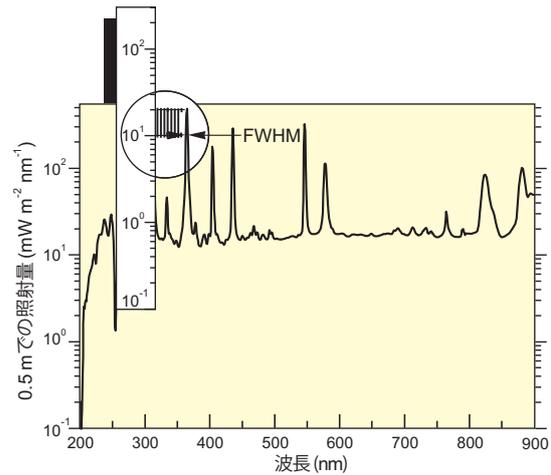


図5 ロググラフからFWHMを計算する。

### データの精度

当社のMS257™分光器を搭載した多チャンネル検出器およびスキャンングモノクロメータの両方を使用し、当社でお取り扱いしているすべてのランプの照射データを測定しました。ほとんどの測定には、入射する照射光の偏光を効果的に平均化する積分球を用いました。アークランプの応力副屈折および低出力QTHランプのフィラメント構造により、出射光の偏光が顕著になります。これは、お客様の用途に役立つ、あるいは損なう場合もあります。

当社のデータは、高い信頼性を有しております。また、データはフル照射をパワーメータおよびキャリブレーション済みフィルタを使用して照合します。測定は、ランプの耐用期間の初期に、ページや真空などで無い空間で実施しました。温度条件はランプハウジングで動作するランプごとに異なります。また、ランプの経時変化により、スペクトル分布が若干変化します。水銀ランプは特に温度変化に敏感です。

同一で製造したランプでも、ランプごとに±15%の出力変動が見られ、UV出力(約280 nm未満)では、明らかにより多くの変動が見られました。エンベロープ材は、標準品とオゾン不用品のどちらも連続的に変化します。エンベロープ厚は厳しい公差の影響を受けません。

つまり、このデータはこのタイプのランプで得られる最も包括的で信頼性の高いものであり、第一推定には最高のリソースであると考えられます。しかしながら、このデータを厳しい公差を設けたシステム設計のベースにする場合は、必ずランプを使用する動作環境で特性評価を追加で実施してください。

### 適切なスペクトル照射曲線を定める

表1を参照し、お客様のランプに該当するスペクトル照射グラフのページ番号を探してください。次のページに示す曲線が、お選びいただいたランプの代表的な照射曲線です。UV、VISおよびNIRの特定の波長帯における総照射量をパーセントで示しています。

表1：UV-IR照射光源

ランプの種類	波長帯	ワット数/出力	モデル
キセノン	200 - 2,500 nm	30 W	63163
		30 W	63165
		75 W キセノンアークランプ	6251NS
		75 W キセノン、高安定度アークランプ	6247
		75 W キセノン、オゾンフリーアークランプ	6263
		100 W キセノン、オゾンフリーアークランプ	6257
		150 W キセノン、オゾンフリーアークランプ	6255
		150 W キセノン、UV増感型アークランプ	6254
		150 W キセノンアークランプ	6256
		300 W キセノン、オゾンフリーアークランプ	6258
		1,000 W キセノンショートアークランプ、UV増感型	6269
		1,000 W キセノンショートアークランプ、オゾンフリー	6271
		1,600 W キセノン、オゾンフリーアークランプ	62711
		水銀	200 - 2,500 nm
100 W水銀アークランプ	6281		
200 W水銀ランプ	6283NS		
350 W水銀ランプ	6286		
500 W水銀ランプ	6285		
水銀(キセノン)	200 - 2,500 nm	WHg (Xe) ランプ	6291
		500 WHg (Xe) ランプ	66142
		1,000 WHg (Xe) ランプ	6293
		1,000 WHg (Xe) ランプ、オゾンフリー	6295NS
クォーツタングステンハロゲン	200 - 2,700 nm	20 Wクォーツタングステンハロゲン	6319
		50 Wクォーツタングステンハロゲン、ショートフィラメント	6332
		50 Wクォーツタングステンハロゲン、ロングフィラメント	6337
		100 Wクォーツタングステンハロゲン	6333
		250 Wクォーツタングステンハロゲン	6334NS
		600 Wクォーツタングステンハロゲンランプ	6336
赤外素子	1 - 25 μm	1,000 W FEL QTH 6315	6315
		1,000 W QTH 6317	6317
		IRエミッタ、140W素子	6363
		赤外セラミック素子、22 W	6575
		低コスト赤外素子、9 W	6580
		24W SiC 光源素子	80030

注：各光源のスペクトル照射曲線については、NewportのWebサイトでご覧いただけます。

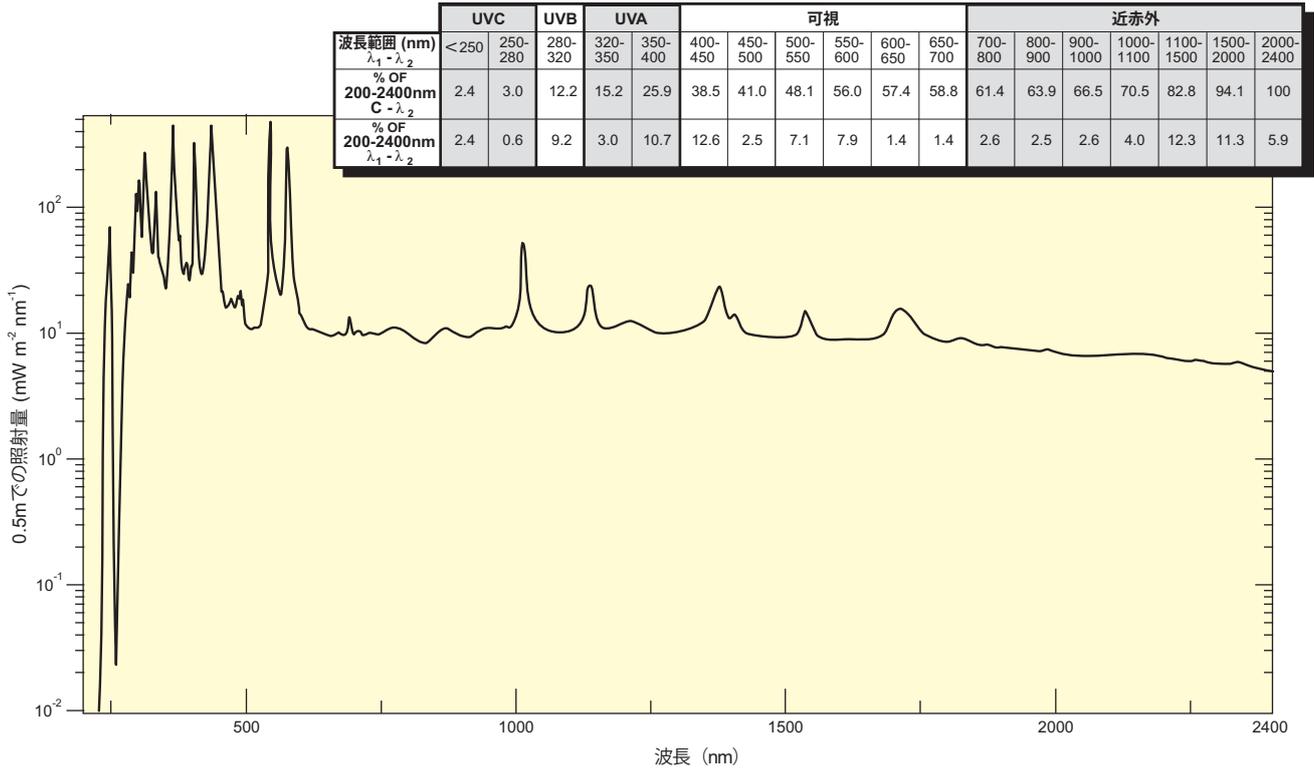


図6：6283 200 Wハロゲンランプの代表的な照射スペクトルであり、UV、VISおよびNIRの特定波長帯における総照射量をパーセントで示しています。

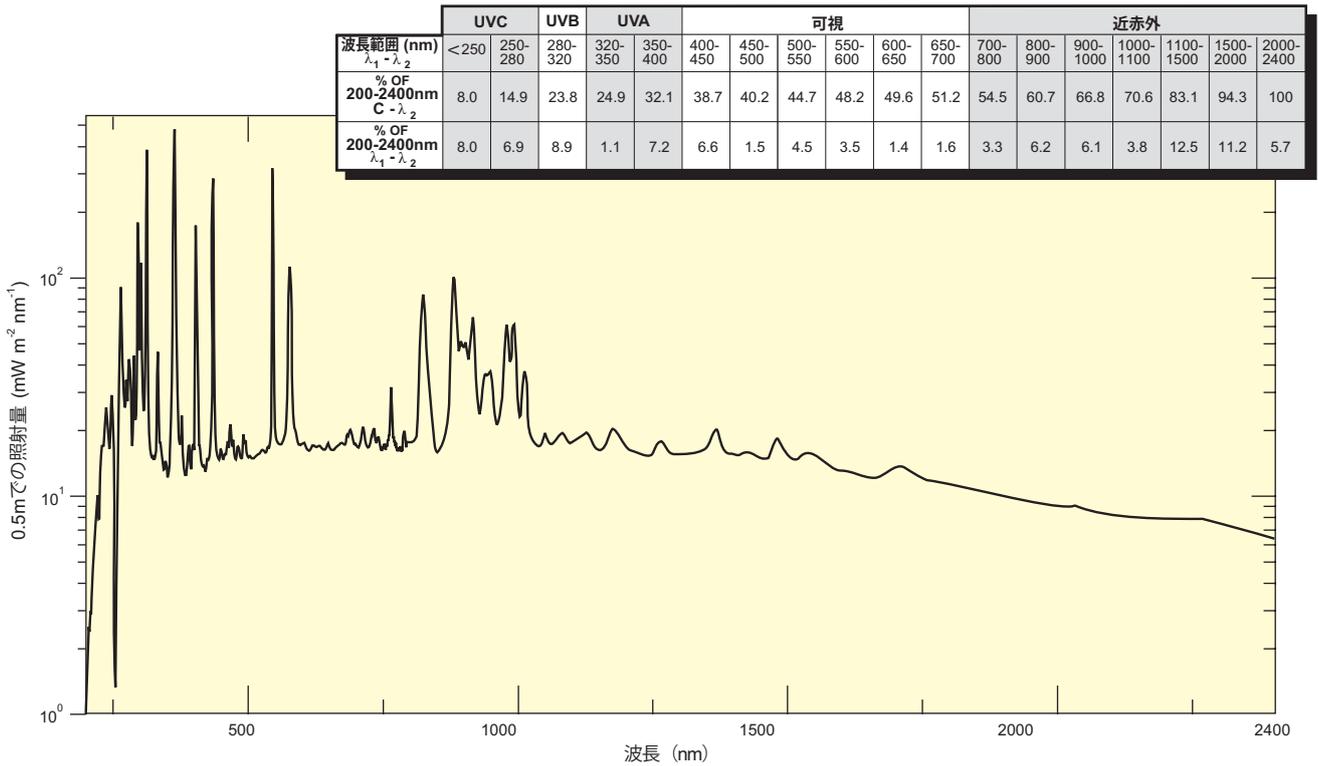


図8：6291 200 ハロゲン (キセノン) ランプの代表的な照射スペクトルであり、UV、VISおよびNIRの特定波長帯における総照射量をパーセントで示しています。

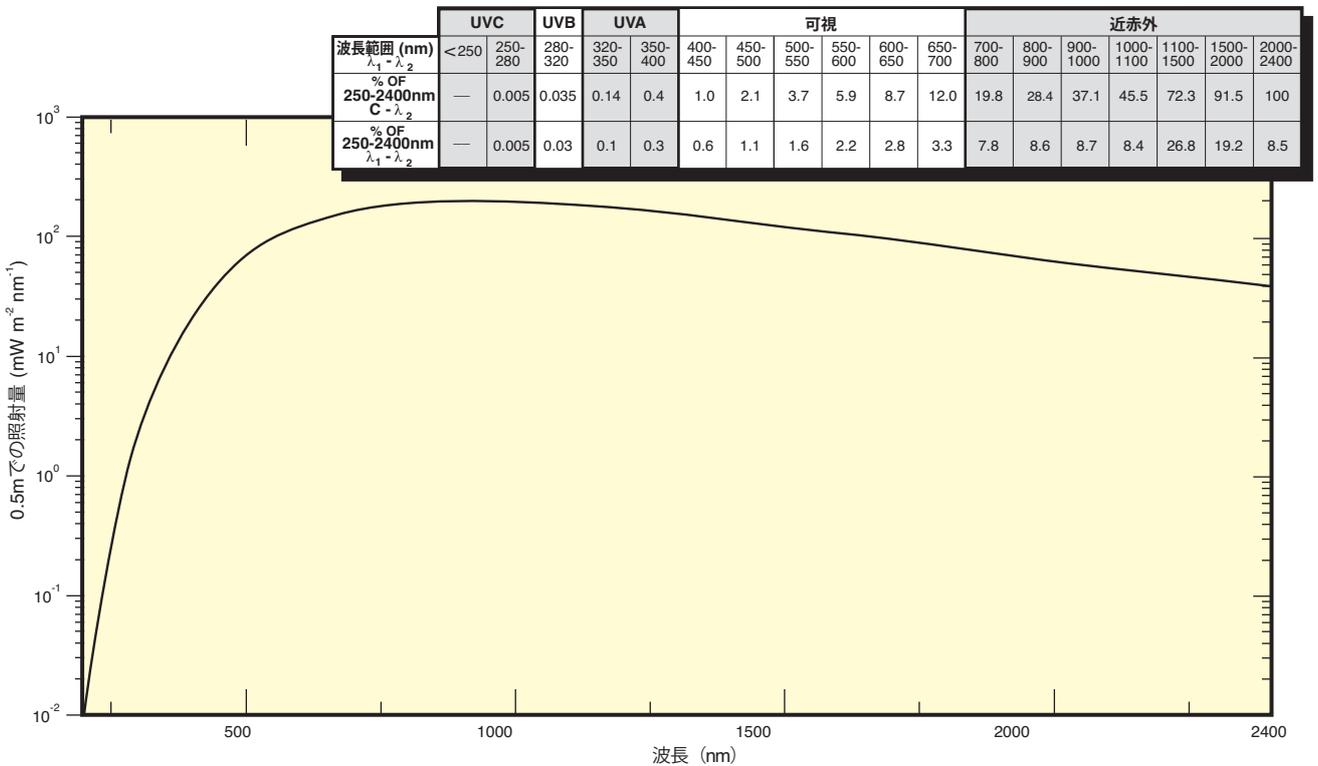


図9：6315 1000ワットQTHランプの代表的な照射スペクトルであり、UV、VISおよびNIRの特定波長帯における総照射量をパーセントで示しています。

WEB 詳細は当社のWebサイトを参照してください。